

情報部会 部会記録

平成 30 年 11 月 6 日 (火) 13:30～

県総合教育センター382 大研修室

1 開会の挨拶 谷内 祥訓 部会長 (新湊)

2 研究発表

(1) 「マップを用いた問題解決の方法」

森田 里香 (八尾)

課題解決のため、意見をまとめるためのKJ法などを利用し、生徒の課題解決能力・探究力の育成、およびグループ間評価を利用した取組。

(2) 「情報活用の実践力を育むために」

安川 正洋 (高岡南)

生徒の課題解決能力、情報活用を伸ばすための。総合的な学習時間や探究活動必要となる能力の育成に繋げる長期的ビジョンに基づいた指導。

3 報告

「全国高等学校情報教育研究大会」

中西 純 (水橋)

平成 30 年 6 月に秋田公立美術大学で開催された大会の報告。基調講演や、分科会で紹介のあった実践事例について報告された。

「日本情報科教育学会第 11 回全国大会」

多賀 誠志 (高岡)

平成 30 年 6 月に東京学芸大学で開催された大会の報告。基調講演、分科会や参加したワークショップについて報告された。

4 講演

「主体的・対話的で深い学びをめざす授業づくり」

金沢星稜大学 人間科学部こども学科

教授 佐藤 幸江 氏

大学での研究内容などの紹介に引き続き、新教育課程へ向けての「情報教育の動向」について話された。また、現在の小学生が実践するプログラミング教育の概略など提示され、数年後には高校生となる子供達の現況や先進的な取り組みなどを紹介していただいた。

5 謝辞・指導助言

牧田 洋一郎 指導主事

講演においては「主体的・対話で深い学び」につながる授業づくりや、情報活用能力の育成についての方向性を、実践例の紹介をもとに説明下さいました。我々高校生を指導する立場の者も小中学校からの学びの接続という面で、情報収集は大変重要であると再認識した。

発表については、「社会と情報」で記載されている内容をより具現化する形での指導計画立案・実践で、課題解決のためのKJ法等の活用など実践を通して課題解決能力探究育成図った素晴らしき取り組みであった。また、課題解決能力、情報活用能力を伸ばすための授業展開の実践発表は主体的・対話的で深い学びに繋がる展開ができていた。

6 閉会の挨拶

山口 哲 副部会長 (富山)